

湯郷渡・下母畑・上母畑の3サロンでは健康寿命延長に頑張っています！！

11月5日（火）湯郷渡サロン 15名 参加 講師 山下 洋子（健康リーダー）、8日（金）上母畑サロン 15名 参加 講師 宗形 修理（中島リパティ）、12日（火）下母畑サロン 12名 参加 講師 円谷 礼子（中島リパティ）の3サロンでは、脳トレ、健康体操等で健康寿命を延ばす為に指導して頂いています。



湯郷渡サロン



下母畑サロン



上母畑サロン

白菊学級、年に1回の健康体操実施

11月13日（水）13:30から白菊学級（会長 木戸 孝子）がありました。今回の学級は年に1回の健康体操が行われました。講師はニチイ学館 杉山 雪江さんによる健康体操で全員が女性だけ13名で行われました。



挨拶する木戸孝子会長



健康体操に精を出す会員達

12月の行事

- | | |
|--|-----------------------|
| 3日（火） 9:30 湯郷渡サロン
講師：滝川ハルイ、二瓶順子（健康リーダー） | 14日（土） 13:30 書道教室 |
| 7日（土） 9:30 そば打ち教室 | 15日（日） 16:00 母畑区長会忘年会 |
| 7日（土） 13:30 書道教室 | 17日（火） 13:30 きたす会 |
| 9日（月） 10:00 高齢者学級（議会傍聴） | 21日（土） 13:30 書道教室 |
| 10日（火） 13:30 下母畑サロン
講師：山下洋子、南條みち子（健康リーダー） | 21日（土） 18:00 合同忘年会 |
| 11日（水） 18:00 民謡教室 | 24日（火） 13:30 きたす会 |
| 12日（木） 13:30 ハーモニカ教室 | 25日（水） 18:00 民謡教室 |
| 13日（金） 9:30 上母畑サロン
講師：廣田 智（理学療法士） | 26日（木） 13:30 ハーモニカ教室 |
| | 27日（金） 仕事納め式 |

編集後記 今月で令和元年も終わりです。月日の経つのが本当に早いですね。皆さんはどうですか？令和元年は天皇陛下の即位の行事があったり、ラグビーのワールドカップで全日本が大活躍したりで、嬉しいことが多かった反面、台風19号被害があったり激動の年でした。来年は東京オリンピックイヤーです。皆さんひとつでも良いことがあるように頑張りましょう！

母畑自治センターだより

母衣旗

今月の題字（274）小6 関根 あんり さん

教育日標

「輝け！

母衣旗」

令和1年 12月	第557号
発行日	令和1年12月1日
発行所	母畑自治センター
責任者	センター長 瀬谷 長一

復興！！第2回北須川溪谷ウォークラリーを開催！！

大型台風19号の被害が母畑地区内にもあったが、復興イベントとして第2回北須川溪谷ウォークラリーを開催した。台風19号災害の影響で気が滅入る中、晩秋の青空に雲ひとつ無い素晴らしい日に21名が参加し、足取り軽やかにスタートした。ウォークラリーは昨年と反対で、母畑自治センター駐車場をスタートし、雷風神社→浄光寺（休憩）→八幡神社→母畑浄水場→北須橋→母畑自治センター迄の歩行距離約5.3km、歩行時間約90分のコースでした。



出発式



いざ！出陣



一番の難所（上り坂）



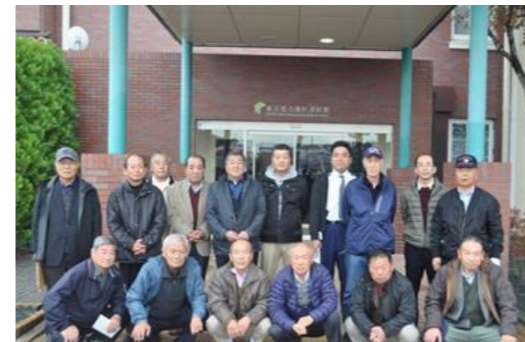
軽やかにウォーキング



参加者全員で記念撮影

母畑自治協議会 理事会移動研修実施

11/23（土）母畑地区自治協議会理事会では、現在の原発事故後の復興状況を14名の参加の下、確認して参りました。現地では、西池崇康巡查部長（昨年度まで石川署）に案内して頂きました。



参加者全員で記念撮影



廃炉資料館内



西池警部補、車中での案内



帰還困難地域のバリケード

我が石川郡は西部と南部にやゝ開けた平地があるのみで東部、北部は、ほとんど山と谷である。氣候も地勢の影響を受けて東部山間の地は西部とくらべて稍寒むい。我母畑村だけでも學校の近くと北山の入りの方とは温度や雨雪の量が少しの差がある。それで植物の花の咲く時なども郡中一様ではない。果物なども西部ではよく出来るが、東部ではあまりよく出来ない。母畑へんで出来るあま柿は、小平、蓬田に植えても實はなるけれども、あまくはならない。又暖地に産する果実類を、この辺に持つて来ても、同じ事である。台湾に出来るバナナは九州では出来ない。四国に産する夏みかんは、中部地方では大きくならない。蜜柑は和歌山縣や靜岡県の海に面した地方で出来るものであるが、この地方に持つて来たのはどうして實がならない。しかしこれ等の植物を温室の中に入れて適當な温度にして置くと、何れもいつに實を結ばせる事が出来るのである。寒地の植物も又同じである。りんごは青森縣の名産であるが、この辺ではりんごは出来得ない。氣象と植物との關係が最もよくわかるのは、高山に登つた時である。五月末頃蓬田嶽に登つて見ると母畑辺でとうに終つた櫻が、そして青い實がむすんだ頃、今を盛りと咲いているのに驚く。殊に面白いのは磐梯山である。六月焼けつくような暑い日にのどをかわかしながら、ふもととのさゝやぶを通りぬけると、そちこちに点々と眞白な花が咲いている。木蓮の花だそうだが、道の兩がわの木立のそちこち青い櫻の實が、ぼつりぼつりなつていっているのが目につく、少し進むと、下の方で青い實がなつていっているのに今を盛りと咲いているのだ。木などももうややく一米位しかそだたない。頂上に近いあたりでは、櫻などはなく、特別

第八課 ラヂウムの偉力

我母畑鑛泉はラヂウムを含んでいる点で日本全国にも有名だとゆうが一体ラヂウムとはどんなものだろう。ラヂウムは一つの元素で、ある鑛石の中に含まれていて絶えずアルファ線を出している。……そのアルファ線はその鑛石からとび出すとラヂウムエアナチオンとゆうものに變つてしまふラヂウムエアナチオンも又強いアルファ線を出す。アルファ線は陽電氣をおびた細かいつぶの流れで、とても肉眼では見えない。しかし螢光板とゆう特別の仕掛をもつて見ると螢のような青びかりをした小さな星のようなものがとび出すのを見る事が出来る。このラヂウムは人体や動物の体に對して色々な働きをするので、ラヂウムを含んでいる水は鑛泉に葉に昔から用いられた

令和元年度伝達料理講習会実施

11/15（金）9時から石川町食生活改善推進員会主催の伝達講習会（高血圧予防教室）が開催され、「～高血圧予防のための食事～減塩！野菜をたくさん食べよう～」をテーマに参加者16名が美味しい食事づくりに頑張りました。



料理を作る参加者

出来上がった料理

参加者全員で記念撮影

枯れ葉片付けボランティア



11/15 野本栄一さんによるプロア―で自治センター前の枯れ葉清掃して頂きました。

ザル菊満開！！



母畑菊釣り愛好会（会長 馬場栄一）によるザル菊が満開です。（撮影：R1.10.30）

ラヂウムは人体の細胞をはいする働きがあるが病氣にかゝっている細胞は、健康体の細胞より弱いから、早くはかいされて、病氣をおしてしまふ事が出来る。ラヂウムは、血のめぐりをよくし、胃腸をはじめ、体の諸器官の働きを盛にするのでウチミ、ヤケド、キリキズ、リウマチス、神経痛等にはよくきゝめがあるのである。

第九課 櫻が言いました

「君今夜も又霜だね」と如何にも困つたような顔をして隣の櫻の木に話しかけたのは、去年植えられた月桂樹だった。「入り日がよかつたからなあ、風でも出なければきつと霜になるね」とぬぐつたように一片の雲もない初冬の空を見上げながらそれに答えた。「静かですね」「ほんとうに」

向うの発電所の水音が急に高くなつたような氣がする。彼等がいる校庭も、校舎も、只だまつて居た。さびしくてたまらないのか、月桂樹は櫻に話しかけるのだった。

「こゝろ静かになると何だか故郷が思いだされてならない。」「そうだろうね、僕なんでももう十年以上も居るのだからなんともないが、……君は福島町の町から来たんだね」

「えーそうです。こゝろに來た時は、随分がっかりしたよ、……山の……」

だし學校も小さく感じたからね、今でこそそう思わないけれど」「いやこの校舎も學校が始めて出來た頃に比べたら大した違えだよ、なんでも四、五十年前までは、ようやく男の子が十二、三名で、女の子は字などおぼえなくてもよいとゆうふうだったので、女の子など一人も上らなかつたらしい。そして、永沼頼母とゆう人の家と

光寺との二ヶ所に學校があつて、それを校舎に使つていたとゆうんだからね。……それがだんだん狭くなつて二ヶ所の學校が別々に永沼家から瀬戸へ、浄光寺から惠瀬郷へとうつたそうだ。

それが明治二十年四月一日に小學校の設置區域と校敷位置配當の改正に依つて二ヶ所の學校を一つにまとめて、今の役場の所にうつたさうだ。その後日清戦争や日露戦争があつてだんだん日本人だちも開けて來て、本當に學問の大切な事がわかつて來た。生徒もふえ、村の人達の努力に依つて、明治四十一年今の校舎が新築された

うです。それ前の校舎はせいぜい今の半分位のちつぽけなものだったでせう。それに今は生徒が四百人以上で、こゝろしたいろいろの運道具の備はつた校庭が出來たのです。」

「そうすると大いに發展したわけですね、……この庭は四百五六十坪

「話に夢中になつたもので、お月様が上るのも知らないでいた。ごらん先生がおかえりになるよ」「いつもおそいね」「何にがいがしいでしよう」首をかしげて月桂樹がいつた。「そりやあ君生徒達に教える事や色々の研究があるだろうよ」「ほんとうに」

「に生徒達は幸福だね」つくづく感心した句調で櫻がいつた。其の時校門から話し合いながら入つて來た人影が見えたので話して居た木は黙つてしまつた。

「今晩は満州問題が聞けるなあ」「あゝいつもの補習生だなあと思つた。始業の鐘が鳴つた。又もとの静けさにかへつた。「補習生も六十名程通りましたね。あの人は訓練にも來る人達でしょう。」「それから女の補習もあるんですか」「い、昨日から裁縫に來た人達はそうですよ」

授業が終つたらしく彼等は校舎からはき出されるようにかへつて行つた。皆かへつて終つたと話し出した。「ね月桂樹君、君が來た時チツポケな學校に感じたといつたね。」「え

「しかし間もなく校庭も校舎も擴張されるよ」それから、圖書館だね、學校を卒業しても、どんなに年寄りになつても、世界の事や自分の

修養の事など色々讀書に依つて知らねば文明人の資格がないよ。そればかりじゃない、色々な知識を得て大いに村を發展させるんですね」「本當にそうだ」と強うなずいた。

月はもう眞上まで來ていた。

今回は「下巻 第一課 石川郡」を掲載致します。

